

令和2年度 第3回 海老名市社会教育委員会議内容

日時：令和2年11月24日（火）

10:00～11:40

場所：えびなこどもセンター201会議室

【出席者】

委員	井澤委員、小俣委員、加藤委員、北川委員、栗山委員、中谷委員、橋本（絵）委員、橋本（瑞）委員、山田委員
事務局	伊藤教育長、伊藤部長、山田課長、足立原係長、小菌主幹、橋本主任主事
指定管理者	高橋氏、平賀氏、吉留氏

【議事】

(1) えびなっ子いきいきシンポジウムについて

配布資料に基づき事務局が説明

①サブタイトル案について

委員：質疑や意見はないので、多数決で決めてはいかがか。

議長：では一人一回手を挙げていただき決を採りたい。

結果

- ・海老名が大好き、夢をもてるえびなっ子を育むには 0票
- ・地域で「海老名がだいすき、夢をもてるえびなっ子」を育てよう 1票
- ・地域のみんなで育てるえびなっ子 2票
- ・みんなで磨く、えびなの原石 2票
- ・地域で育てる心と心 つながろう、つなげよう 3票

議長：ではサブタイトルは「地域で育てる心と心 つながろう、つなげよう」に決まりました。

②当日の準備分担、席次について

意見なし

③シンポジウムの説明資料について

～質疑応答～

委員：内容については良いと思います。ただ、やはり対象がえびなっ子となってしまうと、対応が難しい社会教育団体も多いのではないかと思います。現状、子どもが所属していない団体もある。そのような団体が、どのようにこの社会教育計画に則った形で、子どもたちの姿を共有していくのが課題と感じます。

事務局：そのような団体があることは承知しているが、まずは今回作成する「社会教育団体のしおり」で社会教育団体の周知を図ることが子どもとの関わりを作ることになります。

委員：社会教育団体へのお願いについての具体的な例示の説明が後半にあるが、説明の最初の方で「後ほど具体例は説明します」と申し添えておいたほうが良いと思い

ます。

事務局：承知しました。

委員：先日、所属団体の県の研修会に参加し、そこに参加している子どもたちに習うきっかけ等を聞いてきました。「親が所属していたから」や「友人が所属しているから」という理由が多いかと思いましたが、実は「学校の近くにあるから」や「学校にチラシ・広告があったから」という理由が多かったのです。また、「人と違ったことがしたいから」という意見もありました。今回作成する社会教育団体のしおりが、海老名市内にさまざまな団体が活動していることを周知するきっかけになり、見える化されるので、良い取り組みだと感じました。

委員：初年度の「海老名をだいすきになる子」が難しいと思いました。どのように取り組めばよいかの難しいですが、具体的な例示があるのでそれを参考に取組んでもらうにしても、1年では難しいと感じました。

事務局：昨年度の社会教育委員会議の中で、5つの子どもたちの姿のうち、どれを初年度に取り組んで頂くのかというのが議論になりました。その中で、難しい課題を最終年にしてしまうと、目標が達成できなくなるという意見がありました。そのため、初年度に難しい課題を掲げ、次年度のシンポジウムの際に他の団体とどのような活動を行ったのか情報共有を行い、次年度の課題とともに取り組める活動を行っていただくという結論になりました。

委員：説明の中でその考え方も織り込んだほうが良いと思います。

事務局：承知しました。

(2) 海老名市立図書館について

配布資料に基づき指定管理者が説明

～質疑応答～

委員：「海老名市学校図書館支援センター事業」が始まってから、学校の図書室が目に見えてきれいになり、使いやすくなっていることに感謝しています。特に中学校の図書室が大きく変わっており、図書室の利用率も上がっています。また、このコロナ禍において、支援員の方も含めて、本の除菌や休み時間の利用等についての感染症対策を検討させていただいています。

委員：支援員と図書ボランティアとの関りはどのようになっていますか。

指定管理者：支援員の勤務が週2日なので、図書ボランティアの方との打ち合わせが密にはできていませんが、当然時間が合えば情報共有を行っています。また、教師を通じて、図書ボランティアの方から選書のお願いをされることもいます。

委員：学童に来る子どもたちが、図書支援員さんの話をすることがよくあります。教師とは違った大人の存在が新鮮と感じているようです。今お話のあったように、週2日なので、「今日は図書支援員さんがいなかった」などの話もありました。勤務日を増やすのは難しいかもしれないが、図書支援員さんがいなくても図書室に行くと本を借りやすい状態になると子どもたちも喜ぶと思いました。

委員：PTAの活動の際に中学校を訪れますが、自分が学生のころと比べて図書室が全く違うという印象を受けていました。スクラップの作成なども丁寧で素晴らしい図

書室になっていましたので、引き続き取り組んでいきたいと思いを。

委員：今後の課題はどのように考えていますか。

指定管理者：現状のスキルアップとともに、支援員同士の情報共有やスキルの共有を図ってまいりたいと考えています。

(3) その他

①海老名市立中央図書館の状況について

委員：中央図書館のこの3連休の利用状況はどのようになっていますか。

指定管理者：想定していたより混雑はありませんでしたが、学習室の利用も含め、利用者も徐々に増えてきました。また、利用者において、職員がいなくても、利用者自身が自主的に検温や消毒なども行うことが確実に定着してきています。

②令和2年度神奈川県青少年育成活動推進者表彰について

事務局からの報告のみ、質疑なし